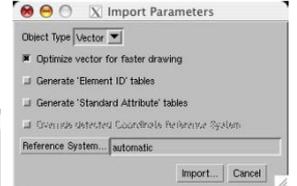
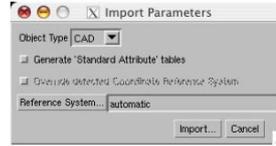


スキーマタグ付き KML から属性テーブルを取り込む

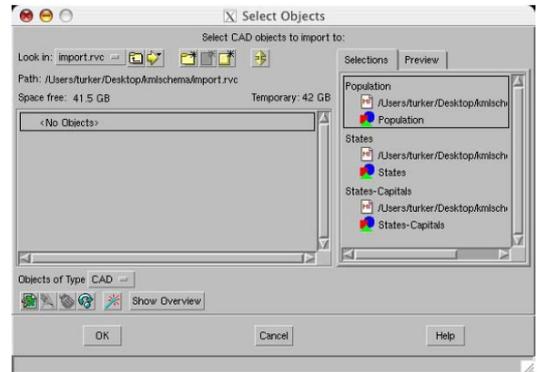
TNTmips のインポート処理では、スキーマタグ付きの KML ファイルから属性テーブル付きの CAD やベクタオブジェクトをインポートします。KML ファイルの中にデータベーステーブル用のスキーマタグがあると、図形情報だけでなく、アタッチされた属性も合わせて CAD やベクタオブジェクトに取り込まれます。KML ファイルのインポートについて詳しい情報は、テクニカルガイドの“インポート：KML ファイルから地理空間オブジェクトを取り込む (Import: Geospatial Objects from KML)” をご覧ください。

インポートで KML ファイルを選択すると、CAD やベクタのオブジェクトタイプを指定することができます。インポート処理では自動的にスキーマタグを検知し、検知された各データベーステーブルに対するオブジェクト名を催促されます。自動で名前を付ける場合、テーブルの名前にはオブジェクトの名前が使われます。KML ファイルがスキーマタグの中にパスやプレースマーク (点)、ポリゴンとそれらに関連する属性を含む場合、3種類のオブジェクトとデータベーステーブルが作られます。作成されるオブジェクトの数は KML ファイルの中のスキーマタグによって決まります。KML ファイルからベクタや CAD オブジェクトを取り込む場合、自動的に属性テーブルが作られ、テーブルのレコードは取り込まれる CAD やベクタオブジェクトの各要素と関連付けられます。KML ファイルにスキーマがない場合、“Table generated by KML file (KML ファイルから作られたテーブル)” という名前の属性テーブルは“Name”と“Description”の2つのフィールドを持ちます。Name フィールドは KML ファイルの中の要素名であり、他方 Description フィールドは Google アースの情報テーブルの内容を HTML 形式で含みます。スキーマタグのある KML ファイルについては、同じテーブル名ですが、デフォルトの Name と Description フィールドはなく、スキーマタグで定義されているフィールドを含みます。

インポート処理では KML ファイルをベクタや CAD 形式で取り込むことができます。



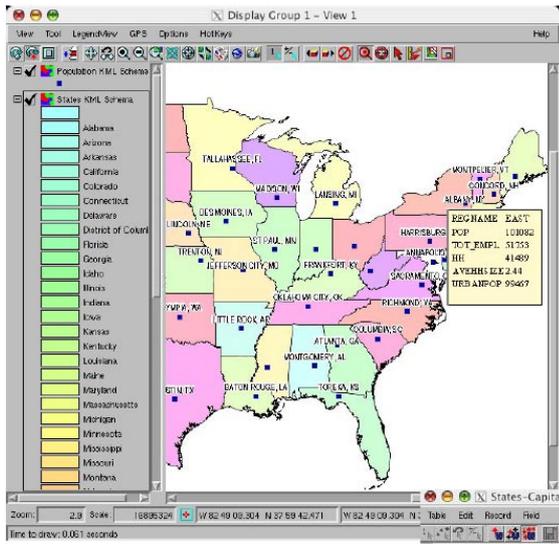
「インポート」ボタンを押すと、いつものオブジェクト選択ウィンドウが開きます。



上の図は、インポート用に選択した KML ファイルがスキーマタグとして2つのデータベーステーブルを含むことを示しています。Population (人口) オブジェクトと States (州) オブジェクトは各々のデータベーステーブルに対するスキーマタグから作成されています。States-Capital (州都) オブジェクトにはスキーマタグがありません。

KML スキーマタグに関連するこの機能は、KML ファイルを Google Earth Pro で開く時のみ有効です。

Google Earth Pro で表示したポイントデータベーステーブル



name	Description	URBANPOP	AVEHHSIZE	HH	TOT_EMP	POP	REGNAME	CITYNAME
ALBANY, NY	REGNAME EAST POP 101082 TOT_EMP 51753 HH 41489	99467	2.44	41489	51753	101082	EAST	ALBANY, NY
ANNAPOLIS, MD	<tr><td>>HH</td><td>>122</td></tr>	31433	2.71	12239	18961	33187	SOUTH	ANNAPOLIS, MD
ATLANTA, GA	<tr><td>>HH</td><td>>157</td></tr>	389485	2.51	157036	189532	394017	SOUTH	ATLANTA, GA
AUGUSTA, ME	<tr><td>>HH</td><td>>864</td></tr>	18053	2.47	8648	10351	21325	EAST	AUGUSTA, ME
AUSTIN, TX	<tr><td>>HH</td><td>>189</td></tr>	443342	2.45	189731	249622	465622	SOUTH	AUSTIN, TX

上の図は KML ファイルから取り込んだ要素を示しています。Population (人口) と States (州) の2つのベクタオブジェクトが表示されており、これらは KML スキーマタグを使って TNTmips のインポート処理で作成されました。データチップは KML ファイルから取り込んだ Description を使って作成されています。

スキーマタグを持たない KML から取り込んだポイントデータベーステーブル

CITYNAME	REGNAME	POP	TOT_EMP	HH	AVEHHSIZE	URBANPOP
ALBANY, NY	EAST	101082	51753	41489	2.44000	99467
ANNAPOLIS, MD	SOUTH	33187	16961	12239	2.71000	31433
ATLANTA, GA	SOUTH	394017	189532	157036	2.51000	389485
AUGUSTA, ME	EAST	21325	10351	8648	2.47000	18053
AUSTIN, TX	SOUTH	465622	249622	189731	2.45000	443342
BATON ROUGE, LA	SOUTH	219531	99809	81973	2.68000	213954
BISMARCK, ND	MIDWEST	49259	25622	16714	2.63000	44644

スキーマタグを持つ KML から取り込んだポイントデータベーステーブル